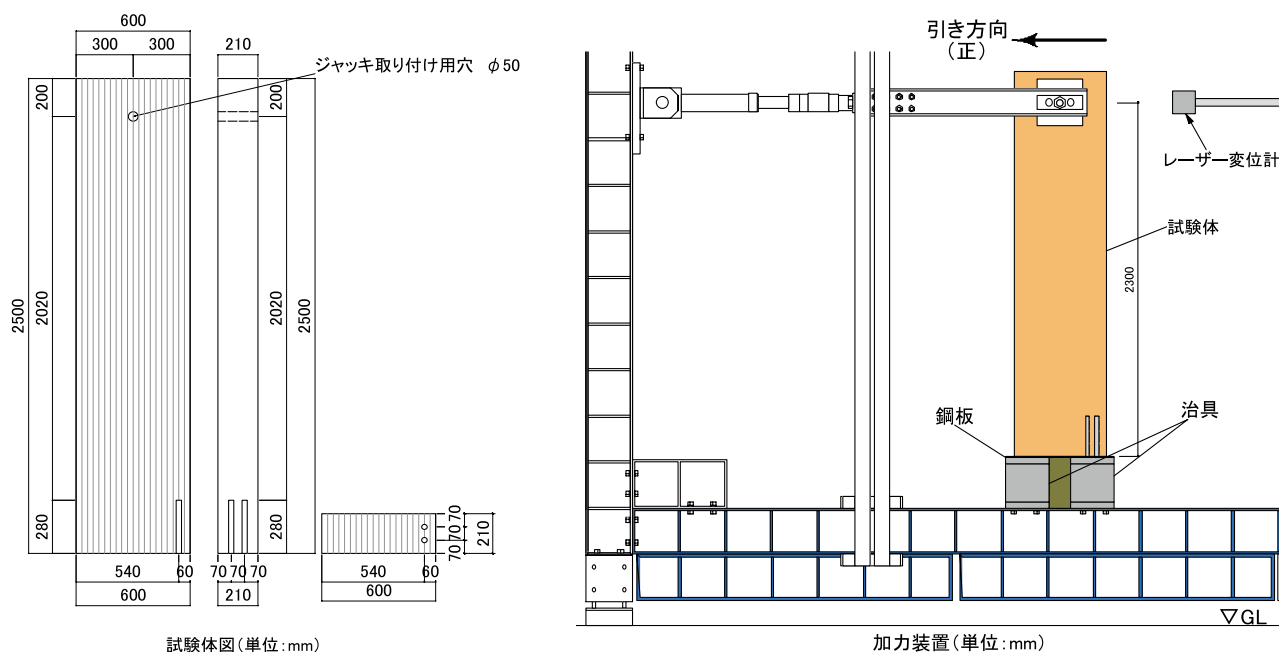


## 接合具 / グレードインロッド (GIR)

集成材 / スギ / E65-F225 / 210 × 600 / GIR 2本 (埋め込み長さ 280mm) / 繊維平行方向

## ● 姿図・寸法



## 【使用材料】

母材：210mm × 600mm (集成材 スギ E65-F225)

接合具：ホームコネクター SL-400 φ 24

接着剤：エポキシ樹脂接着剤 ((株) ホームコネクター：AHC-E)

## ● 適用条件

モーメント抵抗接合部として用いる。

## ● 概要

210mm × 600mm のスギ集成材に φ 24mm の接合具 2本を繊維平行方向に 280mm 埋め込み、エポキシ系接着剤を注入した試験体である。接合具 2本は、ラミナの幅方向同一ラミナ上に並べて配置。

なお、試験は片振り繰り返し加力とし、接合金物は引張力がかかる側のみに配置している。

## ● 接合具 (メーカー、入手方法等)

ホームコネクター工法 (製造：(株) ホームコネクター、販売：(株) スクリムテック)

## ● 問い合わせ先

URL [http://www.scrimtec.co.jp/seihin/h\\_1.html](http://www.scrimtec.co.jp/seihin/h_1.html)

## 接合具 / グルードインロッド GIR

集成材 / スギ / E65-F225 / 210 × 600 / GIR 2本 (埋め込み長さ 280mm) / 繊維平行方向

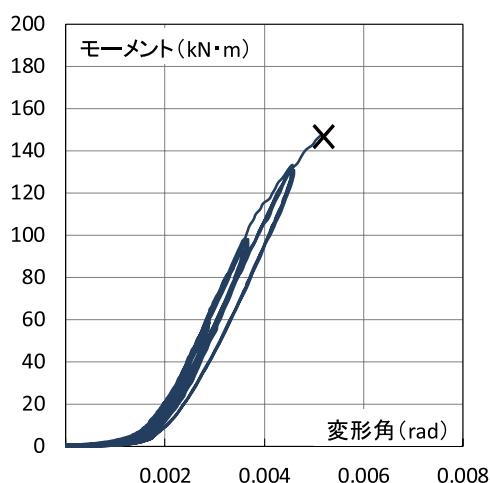
## ● 特性値

試験体	初期剛性 ( $\times 10^3 \text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$ )		降伏モーメント ( $\text{kN}\cdot\text{m}$ )		降伏時の変位 (mm)	降伏時の変形角 ( $\times 10^{-2} \text{rad}$ )
	K	平均	My	平均	Dy	$\delta y$
No. 1	24.34	36.92	88.30	116.25	8.95	0.39
No. 2	44.33		154.97		9.09	0.40
No. 3	42.10		105.47		5.42	0.24

試験体	最大モーメント ( $\text{kN}\cdot\text{m}$ )		最大変位 (mm)	最大変形角 ( $\times 10^{-2} \text{rad}$ )	終局モーメント ( $\text{kN}\cdot\text{m}$ )		終局時の変位 (mm)	終局時の変形角 ( $\times 10^{-2} \text{rad}$ )
	Mmax	平均	Dmax	$\delta \text{max}$	Mu	平均	Du	$\delta u$
No. 1	92.46	133.66	5.27	0.23	84.45	112.44	9.41	0.41
No. 2	161.82		5.87	0.26	132.15		11.39	0.50
No. 3	146.69		5.65	0.25	120.73		8.64	0.38

※ここでの初期剛性は、それぞれの荷重－変位関係における最大耐力の0.1倍と0.4倍の点を結んだ直線の傾きとした。なお、試験時にあそびが生じたので、完全弾塑性モデルより特性値を導出する際、Mmaxの3.5%以下の変位に関しては除いて処理を行っている。

## ● 荷重－変形関係



## ● 破壊性状

試験終了時、全ての試験体で接合金物周囲の母材を伴う引抜けせん断破壊（木破）がみられた。

